

令和8年3月新規高等学校卒業予定者に対する求人の早期提出要請

佐伯市政の運営及び職業安定行政の推進につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本市における景気動向は、緩やかに回復しているものの、原材料費や人件費などのコスト増加の動向が、企業の経営行動等へ影響をもたらすことが懸念される状況となっています。

こうした中、今春の高等学校卒業者の就職内定率は100%となり、管内就職も81名となりました。これもひとえに貴職をはじめ、事業主の方々の御尽力の賜物と心より感謝申し上げます。

一方、高等学校を卒業し地元での就職を希望する生徒に対する地元企業からの求人はやや増加しましたが、就職した生徒の55.5%は管外や県外への就職となるなど都市部への人材流出が懸念されているところです。

少子高齢化の進行に伴う生産年齢人口の減少が避けられない中、企業の持続的発展及び企業活力の維持、また、地域の活性化を図っていくためには、「地域（佐伯）の若者を地域（佐伯）で受け入れ、地域（佐伯）で育成する。」という気運を醸成し、地域の将来を担う優秀な若い人材を確保することが必要不可欠であります。

このため、昨今の社会情勢に起因する経営環境の厳しさは十分承知していますが、一人でも多くの高校生が地元で就職できるよう、新規高等学校卒業予定者に対する「採用枠の早期確保、求人票の早期提出、応募前職場見学の受け入れ」について特段の御配慮をお願い申し上げます。

令和7年5月27日

佐伯商工会議所
会頭 谷川 憲一 殿

佐伯市長 富高 国子

佐伯公共職業安定所長 徳丸 暁洋